

令和4年度 大和こども園園評価 (職員自己評価含)

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	評価				取り組み状況及び課題
	A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針を理解し、子どもの主体性を生かした教育・保育を行っているか		○		<p>・子どもの声や思いを汲みながら子ども達のやってみようとする姿を尊重し、保育環境を設定する様心がけた。悩んだり、上手くいかない事もあり難しさを感じる事もあるが、乳幼児期の発達の特性や個々の興味・関心を大切にし、遊びが充実するための環境や援助のあり方を模索してきた。今後、キャリアアップ研修や外部研修で学んだ知識を保育に取り入れ実践していく。また、子どもを中心とした視点で保育のあり方を園内研修を設け、職員同士が互いに学びあいながら保育の専門性を高められるよう努めていく。</p>
	(2) 今年度の目指す子ども像（やりたいことにチャレンジする子～子どもの特性を生かそう～）に向かって教育・保育をすすめているか		○		
	(3) 子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、教育・保育を行っているか		○		
教育・保育の計画	(1) 社会状況の変化やこれまでの課題を踏まえて教育課程の見直しを行っているか		○		<p>・「10の姿」を意識し参考にしながら保育するよう心がけているが、日々の保育に照らし合わせ評価しながら子どもの育ちを考えることに少し難しさを感じている。今後は、保育日誌のドキュメンテーションに「10の姿」を落とし込み、子どもの姿と成長を照らし合わせ、職員間で共有し課題を探りながら子の育ちを語り合い、教育・保育の質の向上に努めていく。</p>
	(2) 指導計画は今年度の3つの視点を踏まえ、その年齢に応じた体験が展開できるように配慮し作成しているか		○		
	(3) 子どもの興味・関心や意欲に合わせて活動が展開できるように職員間で保育を振り返り、月・週の目標、日々の保育のねらいを設定しているか		○		
	(4) 子どもたちの園生活の中で「10の姿」を参考に、子どもにどんな資質・能力が育っているかを知り、日々の保育の評価をしていますか		○		
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間で共有しているか		○		<p>・毎週金曜日に週の振り返りを行い子どもの育ちや興味を持っていることを職員間で共通理解している。その上で、次週の子どもの遊びの流れや遊び方をどう工夫していくかを話し合い、子どもにとって価値のある環境を常に考え、子どもの育ちと日々の保育を繋いでいけるよう努めていく。</p>
	(2) 子ども一人一人を心から大切に思っかかかわっているか		○		
	(3) 職員間で子ども理解に努め、一人一人に応じた働きかけや援助を行っているか		○		
	(4) 子どもの主体性を生かすよう物的・人的な環境構成の工夫を行っているか		○		<p>・活動などの表面的な事柄に目を向けるのではなく、一人一人の子の気持ちを尊重し、個々に応じた関りを大切にしている。しかし、職員間で考え方や思いの違いやズレが生じることもある。子ども一人一人の特性に合わせた細やかな対応を心がけ、保育を語り合う場を通して職員同士がお互いの価値観や考え方の違いを認め合いながら、子どもにとってより良い保育へと繋げられるよう努めていく。</p>
	(5) 子ども自らが判断できるような場面を意図的に持つことができたか		○		
	(6) 子どもの立場に立って物事を見たり考えたりし、子どもの表出される言動等から内面を丁寧に受け止めているか		○		
	(7) 保育者主導の保育にならないよう、必要最小限の支援・援助としたか		○		
	(8) 子どもを指導する場面では、感情的にならず、心を落ち着かせて行えたか		○		<p>・人権擁護のためのセルフチェックシートや自己評価を活用し、定期的に子どもへの関りや自らの保育を振り返り、子ども一人一人の人権を大切に、人格を尊重する関りを心がけている。その中で、名前の呼びずてや子どもへの一方的な見方等が一部に見られたことを受け、全体に指導し子ども中心の保育を目指すことを確認した。</p> <p>・時に、保育者主体の保育になってしまうことがあるため、職員同士が声を掛け合い、常に自らの人間性と専門性の向上に努めていく。</p>
	(9) 子どもの年齢に応じた発達の特徴を把握し、活動を展開できたか		○		
	(10) 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるように配慮しているか		○		
	(11) 支援を要する子どもに対して、個別の指導計画をもとに、見通しをもって支援・援助することができたか		○		

項目	内 容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者との共通の理解を得るための機会を設けたか		○			<p>・日々の保育や行事の中で、試行錯誤をしながら楽しむ姿やそのプロセスでの育ちを保護者の方に伝えることを大切にしてきた。しかし、保護者アンケートより園の方針が十分伝わっていないことが分かった。次年度は、保護者の方へのお伝えの仕方や方法を考え、引き続き保護者の理解を得られるよう努めていきたい。</p>
	(2) 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけているか		○			
	(3) 保護者からの相談や意見等について誠実に対応し、保育実践に反映できるものは保育の充実に生かすことができたか		○			
	(4) 園は、虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所などの専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
教育保育を支える組織的基礎	(1) 施設長は、リーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容と充実が図れるよう努めているか		○			<p>・保育者間で子どもの育ちを話し合い共通理解をしているが、多様な働き方の職員がいる為、共有の難しさを感じることもある。職員全員が向上心をもって知識を深め、子の育ちを支えている様、具体的な改善策を話し合い実践していく。</p> <p>・看護師を中心に施設内や玩具の消毒などの感染症対策を徹底し感染拡大を最小限にとどめる努力をしている。保護者に対しては、状況の変化に応じて対応等をアプリ等で知らせている。来年度も看護師を中心に、怪我や感染症にも迅速に対応できるようにする。</p> <p>・今年度は、記録的な大雨や大雪の影響を受け、急な保護者への連絡や引き渡しを行った。その際、災害時に子ども達の命を守る上で保護者との情報共有は必要不可欠であり、保護者との連携というところでは課題も見えてきた。来年度は避難訓練実施計画の見直しを行ない、引き渡し訓練を実施する。</p> <p>・園児がバスに取り残された事件を踏まえ、もう一度安全管理の見直しを行った。人数確認をさらに徹底するため、確認表の様式変更し、職員に周知徹底した。また、園児の取り残しが無いよう、バスの中を目視で確認し複数の職員で確認することを徹底する。子ども達の安全・安心の為に職員間で安全管理の意識を共有し、危機管理の意識を高めていく。</p> <p>園児の欠席連絡については、まだまだ保護者に周知が徹底されていない。保護者や職員間で情報共有を徹底していく。</p>
	(2) 部屋の運営は、仕事分担が適切にされ、協働して保育がなされているか		○			
	(3) 日々の保育のねらいを職員間で共有し、保育実践を行っているか		○			
	(4) 自己の不安や悩みについて相談することができたか		○			
	(5) 職種や国籍等が異なってもそれぞれの特性を尊重し支え合うことに努めているか		○			
	(6) 保護者や子どもの個人情報漏洩や滅却がないよう適切に管理しているか		○			
	(7) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			
	(8) 健康管理（体調不良、アレルギー疾患等）について看護師と子どもの情報を共有し、適切な対応がとれるようにしているか		○			
	(9) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止等子どもの安全確保のため、職員としての緊急時の行動を身に付けるよう努めているか		○			
	(10) 会議などでの結論が自分の意見と違う時も相手の意見を受け止め協力しているか		○			
	(11) 職員間で子どもの事や今日の保育・明日の保育の事を気軽に語り合っているか		○			
	(12) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			